

<第11回 堺市長杯 フューチャーズリーグ 大会規程 2024年>

- 1 チームのベンチ入り選手を25名以内とする。
- 2 登録選手は損害保険加入者に限る。(損害保険加入者以外は当大会に参加不可とする)
- 3 ベンチ入り指導者は、「スポーツマンシップセミナー」受講者に限る。
- 4 大会中の負傷については応急処置を行うが、それ以外の責任は持たない。
- 5 登録選手は当日変更可とする。
- 6 試合1時間前までに試合会場に到着し、当日登録選手1部及びスターティングメンバー表4部(相手チーム、審判、本部、控え分)を本部に提出すること。書式は自由とするが、背番号、氏名(フリガナ)は必ず記載のこと。
2試合目以降は、投手投球数記録表(正)と投手投球数記録表(副)相手チーム用及び球場責任者用を提出すること。
- 7 予選リーグ、決勝トーナメントとも、先攻後攻はジャンケンで決める。
また、決勝トーナメントの組み合わせ表の左側が1塁側、右側を3塁側ベンチとする。
- 8 試合開始時間までにチームが到着していない場合、球審は没収試合を宣言することが出来る。
- 9 試合は3年生 7回戦、2年生 7回戦、1年生 6回戦とする。試合成立後同点の場合は1イニングのみタイブレークを行う。
ただし、その1イニングで勝敗がつかない場合は引き分けとする。
決勝トーナメントにおいては、引き分けの場合は勝敗が決定するまでタイブレークを行う。(タイブレークは0アウト 1.2塁から継続打順でスタート)
- 10 5回以降に7点差がついた場合はコールドゲームとする。
1年生のみ4回以降に7点差がついた場合はコールドゲームとする。
- 11 降雨、日没その他の理由により試合続行不可能となった場合は試合成立規則を設ける。
試合続行が難しいと判断した時、4回終了時点であればコールドゲームが成立試合続行が難しいと判断した時、4回が終了していなければ、中断場面から再開する試合成立後、引分けの場合は両チームに勝ち点①を与える。
- 12 試合時間、3年生は1時間50分を越えて新しいイニングに入らない。試合時間、2年生は1時間50分を越えて新しいイニングに入らない。試合時間、1年生は1時間40分を越えて新しいイニングに入らない。
- 13 気象庁発表の警報及び注意報発令時は本部の指示に従う。
- 14 攻守で監督及びコーチの指示・伝達は1試合で各2回の計4回を限度とする。
守備側の投手に対する指示・伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
内野手(捕手含む)が、2名以上投手のところに行ったときも1回に数える。
- 15 チームの抗議権は監督のみにあり、監督不在の場合はコーチが代行する。
- 16 ヘルメットは1チーム7個備えること。(各チーム持参すること)
- 17 参加チームは毎試合、試合球3球を持参すること。
- 18 捕手は必ず規定防具及び、ユニフォーム下の防具を試合及び練習問わず着用すること。
- 19 グラウンドの都合で、大会規定が別に制定される時はそれに従うこと。
- 20 各学年、順位は勝ち点で決定する。(勝利:3点、引分け:1点、敗北:0点)
同順の場合、①総失点が少ないチーム、②得失点差、③総得点が多いチーム、④抽選の順序で順位を決定する。
*2年生のみ適応総失点が少ないチームで決定する。(大会規定に準じて順位を決定する)天候不良等の影響で予選リーグが期日までに消化できない場合、リーグ戦を打ち切り、その時点での勝ち点数を試合数で割った数値(勝ち点率)をもとに、決勝トーナメントに進出チームを決定する。

- 21 相手への野次は「厳禁」。また、相手のプレーに対して「やった、やった」「やるぞ、やるぞ」等の発言はペナルティー。
選手、指導者、保護者は相手のエラー、ミスを喜ばない。
- 22 指導者の服装、ベンチでの態度等は、選手の模範となる行動を取る事。
ユニホーム着用時のロングパンツ禁止、ただし指導者のハーフパンツ着用は可能。帽子は必ず着用。
- 23 喫煙は必ず選手の目に入らない場所とする。
- 24 メガホン、ペットボトル等を使用して、保護者主導での応援は禁止。
- 25 相手のナイスプレーに対しても積極的に拍手を送る。
- 26 投手投球数制限
3年生 1日最大85球
2年生 1日最大75球
1年生 1日最大65球
全学年、基本的に連投は禁止するただし、前日の投球数が50球以下の場合は翌日も50球までの投球は可能とする。打者の途中で投球数の上限に達した場合、その打者まで投げ切ることはできる。
- 27 投手変化球制限
変化球は、カーブ及びチェンジアップのみとする。
(スローボール禁止)
3年生 変化球は投球数の2割まで
2年生 変化球は投球数の2割まで
1年生 変化球は投球数の2割まで
- 28 毎試合後、指定の投球数用紙を本部に提出すること。
- 29 女子部員は1学年下の試合参加を認める。(同学年で参加も可)
- 30 3年生の試合は低反発バット(BBCOR.50認証)又は高校野球対応低反発バット、木製バットのみ使用可能とする。
- 31 1試合で12名以上に出場機会を与える事とする。
1選手、1打席以上且つ、1イニング以上の守備機会を与えるまたは投手として1イニング以上投球する。
(ただし、コールドゲームとなった場合はこのルールは採用しないが、趣旨を理解し、可能な限り多くの選手に出場機会を与える)
- 32 DHの使用も可とする

<投手投球・変化球制限表>

【投球数制限】

3年生	1日最大85球
2年生	1日最大75球
1年生	1日最大65球

【変化球制限】

3年生	投球数の2割まで
2年生	投球数の2割まで
1年生	投球数の2割まで

※ 全学年、基本的に連投は禁止。

※ ただし、前日の投球数が50球以下の場合は翌日も50球までの投球は可能とする。

※ 打者の途中で投球数の上限に達した場合、その打者まで投げ切ることはできる。

※ 変化球はカーブ・チェンジアップのみ。(スローボール禁止)